

全経上級 199 回 理論模試 # 2 (提出期日 7 月 10 日)

※7/11 でも、時間のある限り添削いたします (無理なケースもあります)

<全経上級の理論問題解答のポイント>

①専門誌の模範解答は専門学校講師数人が何度もチェックした解答です。あのような解答は本試験ではだれも作成できません。

②まず主語と述語を意識して簡潔に記す。
減価償却は費用配分の手続きである。

③修飾語を付け加える。
減価償却は取得原価を耐用年数にわたって配分する手続きである。

④さらに付け加えたい言葉があるときは、「さらに」「これにより」などで追記する。
減価償却は取得原価を耐用年数にわたって配分する手続きである。これにより適正な期間損益計算を実現する。

目標時間は 30 分です。

できれば何も見ずに解答して下さい。もしもテキストみる場合でも「丸写し」ではなく「自分の言葉」で記述するように心がけてください。

今回は試験に出そうな論点を複数出題します。この問題で、論点を押さえてください。

①税効果会計の目的について、①～③の空欄を産めよ（各1点）

税効果会計は、企業会計上の（ ① ）と課税所得計算上の（ ① ）に相違がある場合において、法人税その他利益に関連する金額を課税標準とする税金（以下「法人税等」という。）の額を適切に（ ② ）することにより、法人税等を控除する前の（ ③ ）と法人税等を合理的に対応させることを目的とする手続である。

①	②	③
---	---	---

②繰延税金資産の資産性について概念フレームワークの資産の定義に基づいて述べなさい。（7点）

③「リース取引に関する会計基準」について以下の間に答えなさい

ファイナンス・リース取引の会計処理について、法的な形式と経済的実態の観点から述べなさい（7点）

ファイナンスリース取引に該当するリース取引の2要件の空欄を埋めるとともに、各要件の内容を簡潔に説明しなさい

(ロ) 1点 ノン () 内容 (3点) →	
(ハ) 1点 フル () 内容 → (3点)	

フル () 要件の判定は難しいが、現在価値基準と経済的耐用年数基準のいずれかを満たせばよいとされている。それぞれの基準について、基準となる数値を述べなさい。（各1点）

現在価値基準	リース料総額の現在価値が見積現金購入価額のおおむね () %以上
経済的耐用年数基準	解約不能のリース期間が、経済的耐用年数のおおむね () %以上

- ④「研究開発費基準」の抜粋の（ ）に入る語句を記しなさい
 研究開発費は、すべて（イ）時に（ロ）として処理しなければならない

（イ）	（ロ）
-----	-----

（各 2 点）

研究開発費を発生時に費用処理する理由を述べなさい

（5 点）

ソフトウェア製作費の会計処理を目的別に記しなさい（14 点）

目的	詳細	会計処理（各 2 点）
研究開発	—	
受注製作	—	
市場販売	製品マスタ作成まで	
	製品マスタ作成後：著しい改良	
	機能維持	
	上記以外	
自社利用	収益獲得に貢献	